

博報堂DYメディアパートナーズとクウジット、 新聞広告を起点とするスマートフォン向け動画広告配信サービス「A-CLIP」を開発

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ(本社:東京都港区、社長:佐藤孝、以下博報堂DYメディアパートナーズ)とクウジット株式会社(本社:東京都港区、社長:末吉隆彦、以下クウジット※)は、新聞広告に記載された専用の画像パターンを直接認識させることで、スマートフォンに動画広告を配信するサービス「A-CLIP ver. 1.0」を開発しました。

「A-CLIP ver. 1.0」は、画像認識技術を活用したスマートフォン向けアプリケーション「A-CLIP」(エークリップ)を通じて、新聞広告に記載された特定のマークをスマートフォンのカメラで撮影すると、広告掲載商品、ブランドに関連した映像・音声コンテンツを面倒な操作なく、すぐに楽しむことができるサービスです。また、企業サイトやキャンペーンサイトへ直接リンクすることもできます。

将来的には電子クーポンを発行・保存することや、スマートフォンの位置情報に連動したサービスの提供も予定しており、生活者の行動範囲を限定せずに新聞広告とスマートフォンとの連動を可能にすることで、クライアントの多様なマーケティングニーズに応えることができるアプリケーションサービスです。

「A-CLIP」は、博報堂DYメディアパートナーズの動画変換配信サービス「Rocket Box」とクウジットのAR技術「KART(Koozyt AR Technology:カート)」を利用して開発されました。画像認識技術に、KARTを利用することで、QRコードのように接写することなくマーク画像を読み取ることができるほか、スマートフォンで撮影したカメラによる現実映像と、新聞広告に連動させたバーチャルな情報とを合成表示するAR(Augmented Reality=拡張現実感)を活用した広告展開も可能になる拡張性を持っています。

「A-CLIP」の「A」は、Advance(先進性)、Ad(広告)、Archive(アーカイブ)を意味しており、新聞広告の持つ特性である一覧性・信頼性と、スマートフォンをはじめとするデジタル技術が持つ即時性・双方向性との連携、融合を意味しています。

博報堂DYメディアパートナーズとクウジットは、今後もお互いの強みを持ち寄り、位置情報やAR技術を活用した新しい体験価値を生み出すモバイルメディアの開拓に取り組んでいきます。メディア環境の変化に伴う生活者のメディア接行動の多様化の中で、マスメディアとデジタルメディアの組み合わせにより、高い広告効果を期待できる手法の開発を積極的に行なっていきます。

※クウジツ株式会社:「PlaceEngine」技術を開発したソニーコンピュータサイエンス研究所のメンバーが中心となり、2007年7月に設立されました。「PlaceEngine」技術のライセンス提供や開発支援、及び場所や空間に連動した情報配信サービス「ロケーション・アンプ」の企画・開発・運営を行なっています。

■「A-CLIP ver. 1.0」サービス概要

企画: 朝日新聞社、博報堂DYメディアパートナーズ、博報堂MD開発推進局クリエイティブ企画開発チーム、クウジツ

主な使用技術:「KART」

カメラで特定の画像パターンを認識し、カメラ映像などの目の前の現実にはバーチャルな情報を付加、合成、表示し、インタラクティブに情報をやりとりすることのできるクウジツのAR技術ソリューション。ソニーコンピュータサイエンス研究所で開発された CyberCode 技術を利用しており、マルチデバイスに対応が可能。

「Rocket Box」

各種の映像素材を位置情報付き映像データベースとして蓄積、配信できる動画変換ASP (Application Service Provider) サービス。

適用端末: iPhone3G/3GS(OS 3.1 以上) ※iPhone 及び AppStore は Apple Inc の登録商標です。

使用アプリケーション:

「A-CLIP」 2010年1月7日より AppStore にて無料ダウンロードが可能

掲載日: 2010年1月8日 朝日新聞朝刊(東京本社版)

■「A-CLIP ver. 1.0」利用イメージ



■この件に関するお問い合わせ先

博報堂DYメディアパートナーズ
クウジツ

広報グループ
広報

加藤・山崎 03-6441-9347
pr@koozyt.com